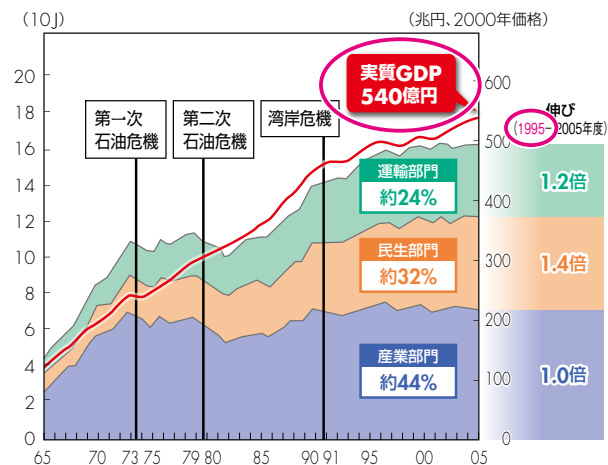


【誤】

ギー消費量は再び増加へと転じ、そのまま現在まで増え続けています。もちろんこの間にも、環境負荷低減に向けた多くの企業努力によって、世界に誇れる環境技術が数多く生み出されました。ベースには、過去に深刻な公害問題を克服してきた経験も生かされています。

日本には、世界トップクラスの省エネ性能を実現した製品も少なくありません。日本の優れた環境技術をもってしても、エネルギー消費の削減は容易ではないという現実がある一方で、地球温暖化を食い止めるためには環境技術が不可欠であることも事実です。日本は環境技術の高さを強みに、今後もさらなるエネルギー効率の改善を目指すとともに、環境技術立国として世界にその存在感を示し、地球環境に大きく貢献していくことが望まれます。

最終エネルギー消費と実質GDPの推移



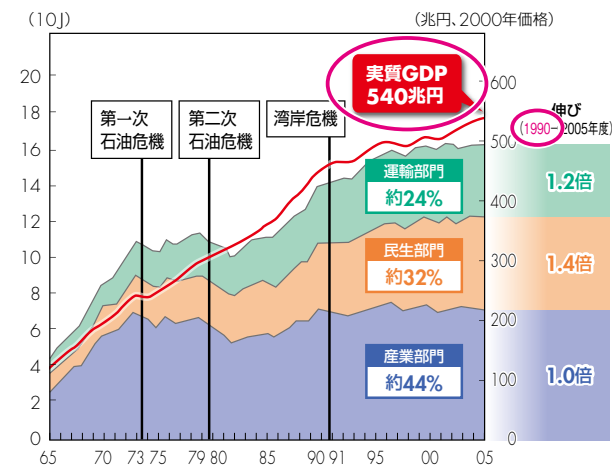
出典:「国内エネルギー動向」(資源エネルギー庁)

【正】

ギー消費量は再び増加へと転じ、そのまま現在まで増え続けています。もちろんこの間にも、環境負荷低減に向けた多くの企業努力によって、世界に誇れる環境技術が数多く生み出されました。ベースには、過去に深刻な公害問題を克服してきた経験も生かされています。

日本には、世界トップクラスの省エネ性能を実現した製品も少なくありません。日本の優れた環境技術をもってしても、エネルギー消費の削減は容易ではないという現実がある一方で、地球温暖化を食い止めるためには環境技術が不可欠であることも事実です。日本は環境技術の高さを強みに、今後もさらなるエネルギー効率の改善を目指すとともに、環境技術立国として世界にその存在感を示し、地球環境に大きく貢献していくことが望まれます。

最終エネルギー消費と実質GDPの推移



出典:「国内エネルギー動向」(資源エネルギー庁)